



# 石堤っ子

高岡市立石堤小学校

学校だより No.6

平成30年 1月31日

## いい心を形に

新学期早々、強い冬型の気圧配置の影響で一晩で80cmを超える大雪となり、緊急の安全措置として、市内小中学校は臨時休校となりました。子供たちの多くは、いつも通りに登校することができましたが、教職員のほとんどが学校へ出勤することができない状況でした。そのような中、登校した子供たちのお迎えなど、保護者の皆様には迅速に対応していただき、大変助かりました。ありがとうございました。

3学期の目標は、「いい心を形に」「自分の中のいい心を外に出してあげよう。」です。できないことをがんばろうとする心や、正しいことをやり抜こうとする心、困っている人を助けようとする心など、子供たち一人一人は、生まれた時から「いい心」をもっています。しかし、その心には賞味期限があり、その時形にしないと、できなかったことが心に重く残り、自分への自信が一気になくなってしまいます。「ありがとう」や「ごめんなさい」など、心を形にして言葉で伝えるだけで、感謝できた自分やきちんと謝ることができた自分が好きになれる。

今、石堤小学校では、6年生が世界中の困っている人たちのために、募金、エコキャップ、古切手、書き損じはがきの回収など、自分たちにできることで一人でも多くの人を救おうと「みんなでチャレンジボランティア」活動を全校に呼びかけています。また先日は、早朝一番に登校した5年生の子供たちが、進んで児童玄関の除雪をしていました。このように、自分の中にある「いい心」を外に出し、進んで活動している5、6年生の姿を、下級生も見習って行ってほしいです。



毎朝白い息を吐きながら、子供たちは雪道を一生懸命に歩いて登校してきます。1年生は、防寒着にランドセル、その上に合羽を着て、頭にいっぱい雪を載せて登校してきます。

ある1年生が、

「校長先生、助けてください。」

着膨れした1年生にとって、合羽を脱ぐのも容易ではありません。

「いいですよ。お助けしますね。」

「ありがとう。」

「どういたしまして。」

こんな1年生とのやり取りに心がなごみます。きちんと自分の言葉で助けを求め、感謝の気持ちを伝えることができる1年生。改めて言葉の大切さを1年生から教わりました。

※子供たちの日々の活動の様子は、ホームページでご覧ください。

## 今後の学習指導要領改訂スケジュール（現時点の進捗を元にしたイメージ）



※文部科学省ホームページより

### 30年度から、次期学習指導要領の移行期間になります。

32年度の全面実施に向けて、30年度よりその準備期間に入っていきます。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指し、各教科の目標や内容の見直し、教科道徳の実践、3年生からの外国語活動や5年生からの英語科の実践などを進めていきます。今後は、変更点など、保護者の皆様にも分かりやすく説明しながら進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。